推進体制

- ・全庁的な連携のもと、施策を効果的に推進
- ・目指すべき将来像や施策について、幅広い意見を聴取
- ・各施策に重要業績評価指標(KPI)を設定し、検証・見直し

各施策の重要業績評価指標(KPI)と数値目標

		KPI	基準値	目標値
基本目標1	<u>(1)</u>	母子健康手帳・母と子のしおり交付時の面接率	97.2%	98.0%
	1	子育て支援アプリのダウンロード数	4,451件	12,000件
		放課後児童クラブの待機児童数	230人	0人
	2	放課後子ども教室の定員数	1,700人	2,200人
		保育所等の待機児童数	0人	0人
	3	子ども医療費(保険診療分)の自己負担	無料	無料
	4	(男性 (男性	1.3%	14.0%
		育児休業取得率 (女性	93.4%	100%
		ファミリー・フレンドリー企業登録企業数	90社	120社
	5	(小学生 「学校が楽しい」と感じている児童・生徒の割合	65.9%	74.0%
		「子校が楽しい」と感じている児童・主徒の制合(中学生	55.8%	60.0%
基本	1	転入者数	11,810人	12,100人
		25~49歳の人口の社会増減(直近5年間累計)	+479人	+510人
	2	遊歩道・自転車道の整備総延長	12.5km	13.3km
		健康維持に取り組んでいる人の割合	57.6%	59.0%
	3	国民健康保険の特定保健指導の該当率	11.3%	10.6%
標 2	9	週1回以上スポーツを実施している人の割合	26.7%	65.0%
		貯筋教室の参加者数	67,310人	82,000人
	4	建築規制緩和の適用による建築件数(累計)	0件	3件
		一宮駅周辺地区の居住人口	17,922人	18,000人
基本目	1	七夕まつり来客者数	1,002千人	1,100千人
		138タワーパークイベント入園者数	858,161人	901,000人
	2	市政に関するメディア掲載回数	718回	800回
		観光協会ウェブサイトアクセス件数	515,365件	566,000件
標3	3	いちのみや応援寄附金の寄附件数	1,560件	1,900件
3		博物館・資料館・美術館の1日あたりの入館者数	307人	340人
		主要スポーツイベント参加者数	6,360人	8,500人
	1	雇用促進奨励金の交付対象者数(直近5年間累計)	201人	210人
基		創業相談件数	180件	200件
基本目標4	2	企業への貼付用「尾州マーク」販売・承認枚数	325,412枚	326,000枚
		有名アパレルブランドと市内企業の契約件数	4件	11件
	3	テキスタイル産業における人材育成事業の受講者数	753人	1,000人
_		中小企業相談所への相談件数	4,882件	4,900件
		就職フェア参加者数	160人	230人
	1	あんしん・防災ねっと登録件数及び一宮市防災ツイッターフォロワー数		20,000件
基本目標5		災害時協定の締結数	107件	140件
		犯罪発生件数(刑法犯)	2,390件	毎年前年より減少
		交通安全の啓発活動回数	33回	35回
	2	AIチャットボット年間アクセス数	_	5,800件
		オープンデータのカタログサイト登録数	101件	300件
	3	名鉄バス・i-バス・i-バスミニの年間利用者数	498.1万人	500.0万人
		市内の公共交通網が充実していると思う人の割合	36.2%	39.0%

発行:一宮市 編集:総合政策部 政策課 〒491-8501 一宮市本町2丁目5番6号 TEL:0586(28)8952 FAX:0586(73)9128

第2期一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略【概要版】

総合戦略の全体像

今後進展する人口減少と少子高齢化

⇒ 社会保障・経済活動等に深刻な影響が予想される

将来にわたって活力あるまちであるために、人口減少対策をはじめとした地方創生が必要

一宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略

合計特殊出生率の上昇と社会増により、 2060年の総人口約34万人を目指す

人口ビジョン

人口の将来展望

【期間】 2060年まで

※推計した総人口や年齢構成は、 平成31年4月時点において、 大きな乖離が見られないため、 第2期での改定は行わない

総合戦略

5年間の施策の方向性や具体的な事業をまとめたもの

第1期

【期間】2015 (平成27) 年度 ~2019 (令和元) 年度

第2期 【期間】2020(令和2)年度 ~2024(令和6)年度

人口ビジョン

		2015年 (基準値)	2060年(推計值)		差
			社人研準拠推計(A)*	市独自推計(B)**	(A-B)
総	人口	386,410人	289,529人	339,503人	約5万人
	年少人口	14.2%	10.7%	15.5%	+4.8%
年齢 3区分別 人口比率	生産年齢人口	61.0%	54.5%	53.5%	▲ 1.0%
	老年人口	24.8%	34.9%	31.0%	▲3.9%

- * 国立社会保障・人口問題研究所(社人研)が公表した推計(2010年の国勢調査の人口を基にした推計)を一宮市の住民基本台帳(2015年4月)のデータに置き換えて試算し直したもの
- ** 市の合計特殊出生率が2040年に人口置換水準である2.07を達成し、移動数(社会増減数)が2015年の2倍程度 (+1,800人/5年)まで増えると仮定し試算したもの

第2期総合戦略の策定方針

第1期のキーワードや基本目標の枠組みは維持しつつ、国や愛知県の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を勘案した計画とします。

さらに、市独自の視点として「健康・医療」を加え、地方創生の意識や取組を次のステップに向けて更に深化させます。

サブタイトル及び5つの基本目標

●サブタイトル

「トカイナカ」で子育てにやさしく

安心して暮らせるまち

~木曽川が育む自然と名古屋から10分の利便性を活かしたまちづくり~

『トカイナカ』とは、「都会の便利さ」と「田舎ののどかさ」を併せ持つまちを表す造語で、大都市であ る名古屋の近くにあって、生活に便利でありながら、郊外には豊かな自然を感じることができる「一宮市」 を象徴しています。

この「トカイナカで住みやすいまち」という本市の特長を十分に活かし、暮らしの場として選ばれ続ける まちづくりを行っていきます。

●5つの基本目標

基本日標

「若い世代の希望をかなえ、充実した子育て環境と 子どもが健やかに学べるまち」をつくる



施策

- ① 結婚、妊娠・出産、子育てに対する支援
- ② 安心して子どもを預けられる環境の整備
- ③ 経済的支援による子育て世代の負担軽減
- ④ 什事と家庭の両立への支援
- ⑤ 特色ある教育の実施



数值目標

合計特殊出生率

1.45 2018(H30)年



1.66

2024(R6)年

4か月児健康診査の受診者のうち 「相談する人」がいる人の割合

98.4%

99.0%

2018(H30)年度

2024(R6)年度

基本目標 💆

「都会の利便性と田舎ののどかさが織りなす、 暮らしたくなるまち」をつくる



施策

- ① 戦略的な情報発信と移住・定住促進
- ② 自然と親しめる木曽川沿川の整備
- ③ 誰もが健康に暮らせるまちづくり
- ④ にぎわいを創出する中心市街地の活性化



数値目標

社会増減(直近5年間累計)

+1.800人維持 十1,869人

一宮市に住み続けたいと思う人の割合

80.3% 2015(H27)年11月



85.0%

2025(R7)年5月

基本目標

「一宮らしさをアピールし、 ひとが集まる魅力あるまち」をつくる

施策

- ① 魅力ある集客イベントの開催
- ② 市の魅力・知名度の向上
- ③ 歴史・文化・スポーツを活用した集客



数値目標

観光スポット・イベントの来客者数

5.500.000_A

2024(R6)年度

JR·名鉄の一宮駅の乗降人員 (定期利用者を除く・直近3年間累計)

3.040.5万人

3.124.0元人

2016(H28)~2018(H30)年度

2021(R3)~2023(R5)年度

4 基本日標

5,006,190人 2018(H30)年度

> 「企業誘致や既存産業の活性化により 新たなしごとを創り、働く力を育むまち」をつくる



施策

- ① 多様な手段による企業誘致の推進
- ② 尾州テキスタイル産業の育成・ブランド化
- ③ 既存産業の育成・支援



数値目標

法人数

8,899事務所



9,000事務所

2024(R6)年度

納税義務者数(個人市民税の所得割)

174,037人



2018(H30)年度

2024(R6)年度

基本目標

「安心して快適に暮らせるまち」をつくる



施策

- ① 行政と地域・民間が協働した 安全・安心なまちづくりの推進
- ② 未来技術も含めた行政サービスの推進
- ③ 暮らしを支える地域公共交通の検討



数値目標

2019(R1)年5月

災害に強いまちづくりができていると思う人の割合

19.6%

23.0%

交通事故による死傷者数

2.517人

毎年

前年より減少

2014(H26)~2018(H30)年

2020(R2)~2024(R6)年

2018(H30)年 2025(R7)年5月